

みずほCustomer Desk Report 2018/01/05号(As of 2018/01/04)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD	公示値	112.75
TKY 9:00AM	112.62	1.2011	135.25	1.3510	0.7826		
SYD-NY High	112.86	1.2089	136.37	1.3560	0.7866		
SYD-NY Low	112.47	1.2005	135.21	1.3507	0.7815		
NY 5:00 PM	112.76	1.2069	136.06	1.3553	0.7864		
NY DOW	25,075.13	152.45	日本2年債	-0.1400	0.00bp		
NASDAQ	7,077.92	12.38	日本10年債	0.0500	0.00bp		
S&P	2,723.99	10.93	米国2年債	1.9535	2.42bp		
日経平均	23,506.33	741.39	米国5年債	2.2674	2.51bp		
TOPIX	1,863.82	46.26	米国10年債	2.4516	0.73bp		
シカゴ日経先物	23,675	475.00	独10年債	0.4315	▲0.50bp		
ロンドンFT	7,695.88	24.77	英10年債	1.2330	1.95bp		
DAX	13,167.89	189.68	豪10年債	2.6525	▲3.00bp		
ハンセン指数	30,736.48	175.53	USDJPY 1M Vol	6.30	0.00%		
上海総合	3,385.71	16.60	USDJPY 3M Vol	7.20	▲0.05%		
NY金	1,321.60	3.10	USDJPY 6M Vol	7.68	▲0.10%		
WTI	62.01	0.38	USDJPY 1M 25RR	-0.35	Yen Call Over		
CRB指数	195.37	0.02	EURJPY 3M Vol	8.24	0.19%		
ドルインデックス	91.87	▲0.29	EURJPY 6M Vol	8.39	0.16%		

東京	東京時間を111.62レベルでオープン。日経平均株価は前営業日比300円超高で寄り付くと、良好な米経済指標や年始からの連騰が目立つア株も引き続き軒並み高となる等、良好な外部環境を好感した買いが先行。日経平均株価が上値を伸ばす中でドル円も堅調に推移し、一時112.78まで上伸。しかし、その後も日経平均が上げ幅を拡大する一方、円売りは勢いを失い112.60台まで反落。黒田日銀総裁が年始の挨拶で「当面、金融緩和を粘り強く続ける」等の発言が伝わるも反応は限定的。日経平均株価は午後も続伸し、大発会の上げ幅としては1996年(+749.85円)以来の上げ幅(1/4終値:+741.39円)となったが、トル円は112.60台の狭いレンジでの値動きの後、米10年債利回りの弱含みを横目に一時112.52まで下落した後、112.55レベルで海外へ渡った。ユーロ円は一時1.2005まで軟化する場面も見られたが、その後じりじり反発、1.20の大台を維持し、1.2030レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、112.55レベルでオープン。日経平均先物が堅調に推移したものの、ドル円の反応は殆ど無く、112.62レベルでNYに渡った。ユーロ円は、1.2030レベルでオープン。12月のユーロ圏総合PMI改定値が、2011年2月以来の高水準(結果58.1、前月57.5)となったことや、メルケル首相率いるキリスト教民主・社会同盟(CDU-CSU)が、第2党であるドイツ社会民主党(SPD)との連立協議を楽観視しているとのマッドラインから、1.2074まで堅調に推移、1.2071レベルでNYに渡った。ポンドトルは、1.3524レベルでオープン。英労働党員の10人に8人が、2回目の国民投票実施を支持しているとの世論調査を受け、トニー・ブレア元首相が、労働党指導部は国民投票の再実施を支持するといひついで語ったことから、Brexit撤回への期待感が浮上し、1.3560まで買われ、1.3547レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外時間のドル円は、堅調なアジア・欧州株式市場を横目に112円台後半での底堅い推移が続き、112.63レベルでNYオープン。朝方発表された米12月ADP雇用統計が予想を上回ったことから、米金利上昇と共にドル買いが強まり112.78まで上昇。米12月マーケット米国サービス業PMIは予想を上回ったが、市場の反応は限定的となった。その後は小幅高で寄り付いた米株がプラス幅を拡大する動きを受けてトル円は高値112.86まで上昇。しかしこの水準ではドル売り意欲も強く、冴えない米金利を横目に112.80付近での推移が続いた。米北東部では大雪のため市場参加者も少なくなり、結局112.76レベルでクローズした。一方ユーロドルは、リスクオンムードが高まる中ユーロ円の上昇につられ1.20台前半から1.2071レベルまで上昇しNYオープン。朝方は欧州時間の堅調な推移を引き継ぎこの日の高値1.2089まで上昇。新規材料に次ぐ中、昨年高値1.2092(9/8/2017)が意識され1.2061まで反落。その後は市場参加者も減る中、1.2070付近での推移が続き、1.2069レベルでクローズした。

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月4日	10:45 中	Caixin PMI(サービス業/コンポジット)	12月 53.9/53.0	51.8/-
	18:00 欧	マーケットPMI(サービス業/コンポジット)	12月 56.6/58.1	56.5/58.0
	22:15 米	ADP雇用統計	12月 250k	190k
	22:30 米	新規失業保険申請件数	-	250k
	23:45 米	マーケットPMI(サービス業/コンポジット)	12月 53.7/54.1	52.5/-
	3:30 米	ブラード・セントルイス連銀総裁「物価水準目標、米経済に有益な可能性」		

国際為替部 為替営業第二チーム

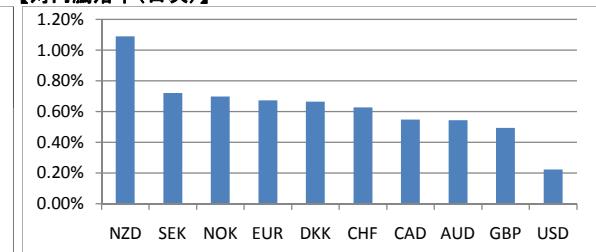
【今日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月5日	9:30 豪	貿易収支	11月 A\$500m	A\$105m
	19:00 欧	CPI(前年比)/CPIヨーロッパ(前年比)	12月 1.4%/1.0%	1.5%/0.9%
	22:30 米	非農業部門雇用者数変化	12月 190k	228k
	22:30 米	失業率	12月 4.1%	4.1%
	22:30 米	平均時給(前月比/前年比)	12月 0.3%/2.5%	0.2%/2.5%
	22:30 米	貿易収支	11月 -\$49.9b	-\$48.7b
	0:00 米	ISM非製造業景況指數	12月 57.6	57.4
	0:00 米	製造業受注指數	12月 1.1%	-0.1%
	0:00 米	耐久財受注(前月比)/同(除く輸送用機器・前月比)	11月 -/-	1.3%/-0.1%
	0:15 米	ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-
	2:30 米	メスター・クリーフランド連銀総裁 討論会に参加	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.50 – 113.00	1.2050 – 1.2100	135.50 – 136.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル円は底堅く推移した。この日発表された12月ADP雇用統計は強めの結果となったものの、その上昇幅は限定的なとなつた。ただ、グローバル景気回復期待の台頭から株高が進行したこともあり、1ドル=112円台後半で底堅く推移した。本日は「堅調推移継続」を予想。米12月雇用統計を控えて様子見姿勢が強まる中、特段の売り材料も見当たらないことから堅調推移が続こう。同指標で賃金上昇等が確認されれば、1ドル=113円を試す展開となろう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:矢野・田家